

(別 紙)

平成28年度 動物愛護管理功労者 大臣表彰の受賞者

受賞者	<p>ヤマザキ カオル 山崎 薫 (65歳) 東京都在住</p> <p>学校法人 ヤマザキ学園 ヤマザキ学園大学 理事長・大学長</p>
功績概要	<p>○昭和53年より「ヤマザキカレッジ日本動物看護学院(現・ヤマザキ学園)」にて教鞭をとり、学園創立から現在まで約40年間にわたって、動物愛護管理の啓発に務めた。</p> <p>○環境省等が開催する動物愛護週間中央行事において、迷子札の配布、参加動物への一般身体検査や家庭で可能なグルーミングの指導、犬のグルーミング実演、愛犬のしつけ方教室、動物功労賞授与式の補佐などのボランティア活動に携わり、長年に渡り動物愛護の啓発活動を推進してきた。</p> <p>○環境省中央環境審議会動物愛護部会の委員として、同部会において専門的な知見に基づく発言を行い、「動物の愛護及び管理に関する法律」の適切な運用等に寄与した。</p> <p>○平成28年4月に発生した熊本地震においては、飼い主とペットを繋ぐ迷子札2000個を熊本県内の避難所や保健所等に無償提供し、大きな被害を受けた被災動物の支援を行った。</p>

受賞者	<p>カナダ キョウコ 金田 京子 (72歳) 東京都在住</p> <p>公益社団法人 日本動物病院協会 CAPP委員会 アドバイザー</p>
功績概要	<p>○日本動物病院福祉協会の事業として昭和62年から開始したCAPP活動(Companion Animal Partnership Program=人と動物のふれあい活動)の黎明期から参画し、ボランティアをまとめるチームリーダーとして活躍するなど、継続的なCAPP活動を実施するための基盤構築に大きく貢献した。また、協会のCAPP委員会の委員を務めるとともに、現在は委員会アドバイザーとして後任の指導にあたっており、家庭動物の社会的役割について、幅広く普及啓発を行ってきた。</p> <p>○平成17年より動物関連の専門学校において教鞭をとり、動物愛護や動物福祉、人と動物の絆に関する幅広い知識の普及・啓発に務めた。</p>

<p>受賞者 (団体)</p>	<p style="text-align: center;">フクシマケンジュウイシカイ 公益社団法人 福島県獣医師会 (福島県)</p>
<p>功績概要</p>	<p>○長年にわたり福島県と連携しつつ、動物愛護週間事業をはじめ、学校飼育動物の治療費の助成や、譲渡した犬及び猫の不妊去勢手術支援事業を実施するなど、福島県における動物の愛護と適正飼養の普及啓発に大きく貢献してきた。</p> <p>○東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故においては、発災直後から被災ペット救済支援センターを開設し、被災ペットとその飼養者に対して支援を行ったほか、福島県動物救護本部を設置し、シェルターにおいて被災ペットの健康管理にあたった。また、飼い主への返還や新しい飼い主への譲渡支援にも力を注ぎ、その結果、県が保護した1,000頭にも及ぶ被災ペット全てを飼い主等のもとに届けることができた。</p> <p>○平成27年からは、東日本大震災から得られた教訓を踏まえ、迷子になったペットが一頭でも多く飼い主の元に戻れるよう、マイクロチップ装着に関する助成事業を実施している。</p>